

守られてここまで

文章で
自由に書け
る事。
この特技
手放したく
ない。
僕はこの
新聞作り、
高校を卒
業してから
働き出して
働き出した。
数年して
から作り
始めました。
それまで
学生の頃
は作っていました。
作り始める
きっかけは
自分のため
の樂しみ
半分でした。
2回か3回
続けて作った
ら、それで

終りだと
思つていま
した。
それから
何年間か
して、振り
返つて
市の頃は
作つていな
と感じじる
事ぐらゐ
だと思つて
いました。
それが良く
たなど
自分でモ
感心です。
読んでいた
沢山の方に
だき、また
沢山の励ま
しのメッセー
ジもいただ
き、幸せです。
だけど二二

まで作り 続けて来れ たのは自分の カでは無く おがげです。 道すきの 守りそな イエス様の どんな時も ます。 お祈りして から始めて お祈りして 毎回最初に する時は 僕はいつも 新聞作りを からだと 思います。 まだアドバイ スかあつた かうだと 思います。 の守り 周りのみんな それから イエス様

あた話は
変あり
普段の生活
の中でも
イエス様の
色んな
力を感じ
させられて
います。
自分の事
なのですが
いえすが
てんかんと
言つ病気
を持つていて
しんどい時
やそばに
誰かに居て
ほしい時に
お祈りする
事が時々
あります。
そしたら
本当に近くで
見守ってくれ
てるような
大丈夫だよと
言ふ温かさ

いつも毎日飲んでいる体が桑拿よりも蒸氣よりもような気がします。またいつも毎日の中で誘導してくれてるような気がします。時に自分がその道に背いた時はそれなりのその時の自分に合った何かか用意されていふと思ひます。また職王書を通じて自分目線では

気付けなか
た事を
色んな人の
助けの中で
気付かされ
る事も
あります。
感謝です。
これからも
この心を
忘れない
歩んで行
たいです。
（聖母
マリア）
あなたがた
はそれぞれ、
授かってい
のですから、
神のさあざま
な恵みの
善い管理者
として、
その賜物を
生かして
互いに
仕えなさい。